

大分県議会ユースモニター

県議会では、若者の意見を県政に反映させるため、学生4名、社会人7名の計11名を「県議会ユースモニター」に委嘱しました。

9月11日（木）には、委嘱状交付式及び第1回意見交換会を開催し、10名が参加しました。

モニターは、県議会の仕組みや役割を学んだ後、「若者が暮らしやすい県にするには」をテーマに、2つのグループに分かれて議員と意見を交わしました。



ユースモニター意見

「温泉や自然、写真映える場所など魅力は多い。情報発信を強化すると良いと思う。」

「車がないと観光地等に移動できず不便さを感じる。」

「障がいを持つ生徒の進学率が低く、支援体制が不足していると感じる。専門的な知識のある人材の支援があると有難い。」



終了後の感想

「大分県の現状を改めて実感し、より良くするにはどうしたらいいか話し合えてよかった。」

「意見交換会の前に議会を傍聴したが、とても貴重な機会になった。議会で実際に話し合われる様子を見て選挙に行かなければならないという思いが強くなった。」

「他の人の意見を聞いて、自身の刺激になった。」



県議会議長と市町村議会議長との意見交換会

10月8日（水）に、県議会議長と県内各市町村議会の議長との意見交換会を別府市で開催しました。

はじめに、全国都道府県議会議長会事務総長の高原剛氏が「地方議会における主権者教育について」講演。続いて、広報委員会委員長である大友副議長が「大分県議会における若年層に向けた議会広報の取組」を説明しました。

その後、県内各市町村議会の議長から意見が出され、主権者教育等をテーマに活発な意見交換が行われました。

